



学会ホームページ <http://jasce.jp>

047号(2018年11月27日)

目次

- 第15回全国大会を終えて
- 総会報告(学会事務局)
- 国際協同教育学会 2019
台北大会情報
- 『協同と教育』への投稿募集中
- 学会ワークショップ
- 開催報告
- 今後の予定(判明分)
- 各地の研究会・勉強会

第15回全国大会を終えて

11月16日(金)～18日(日)、テーマ「学びの質を問いかえす -協同学習の視点から-」のもと、第15回大会を梅花女子大学で開催させていただきました。天候に恵まれ、紅葉がかった秋のキャンパスに、全国から200名を超える参加者をお迎えすることができました。参加していただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

16日(金)は3題のワークショップに75名の参加があり、17日・18日には、研究発表15題、実践報告38題、ラウンドテーブル7題、ワークショップ4題の発表がありました。17日(土)の記念講演には溝上慎一先生を講師にお迎えし、テーマ「協同学習の視点から学校から仕事・社会へのトランジションを考える」をご講演いただきました。

今大会の運営には、梅花女子大学看護学科の1年生・2年生がボランティアとして参加させていただき、歓迎セレモニーでは梅花歌劇団とチアリーディング部の学生が演技を披露しました。大会後は学生たちからメールが届き、運営に携わって得た学びと感

謝が綴られております。学生と教員が共に運営の学びと喜びを共有できたことが財産です。

私達、大会実行委員会は、本年6月の大阪北部地震や9月の大型台風の影響を乗り越えて準備にあたってまいりました。物理的な困難と共に「大成功」への浮沈をかけた準備段階においては、「協同の精神とは」、「真の協同とは」の問いと向き合うことができました。

あらゆる場面に学びが存在しますが、協同学習による学びの質を問う時、単に技法による成果に留まっているのは協同教育の本質を見失います。まずは教師自身が、あらゆる面において異なる他者と協同し、協同に貢献できる自己へと成長・変革していくことが、協同の精神に基づく真の協同学習の実践者に必要であると考えます。

次回開催校は高知大学です。教育実践と研究の質を高めあって集い合いましょう。

大会実行委員長

梅花女子大学 緒方巧



総会報告(学会事務局)

11月16日(金)～18日(日)の3日間、第15回全国大会が梅花女子大学(大阪府茨木市)で開催されました。総会では、例年通り、予算・決算、事業報告・計画等について審議し、すべ

て承認されました。

特筆すべき事項として「学会創立15周年記念誌出版」についてお知らせします。

現在、出版に向けた編集作業が順調に進んでいます。次年度夏までには、皆様のお手元に届けられる見通しです。この記念誌は、2018年度までの会費を完納されている皆様には、無償で配布させていただく予定です。会費の納入状況をご確認の上、未納がある方は、2019年3月末までに納めください。

国際協同教育学会 2019

台北大会情報

IASCE台北大会参加費早期割引期限が迫っています。来年3/22～24に開催される2019年国際協同教育学会(IASCE)台北大会の大会参加費の早期割引申込期限は12/20までです。参加をお考えの方は、ぜひそれまでにIASCEホームページよりお申し込みください。早期割引料金は6,275台湾ドルです。

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けています。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月を要します。編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第15号(2020年3月発行予定)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

JASCE

学会ワークショップ開催報告

<ベーシック>

2018年9月22日(土)~23日(日)【主催】

会場:比治山大学(広島市)6号館
06203教室

講師:安永 悟・須藤 文

比治山大学の山崎真克先生、佐々木淳先生にご尽力いただき、広島市で初めて、ベーシックを開催することができました。参加者は9名と少なかったのですが、マスターコース受講生の参加が3名あり、3つのグループに分かれて、一緒に活動していただきました。終始、和やかな雰囲気、熱心な意見交流がなされました。特に、「確認・質問タイム」での議論が活発になされていたのが印象的でした。特筆すべきは、1日目夜の懇親会に、全員が参加したことです。絆を深め、学びを深めることができ、とても有意義で心地よい会となりました。

比治山大学でのベーシックは、次年度も開催予定です。たくさんの参加をお待ちしております。(須藤文)



<アドバンス>

2018年11月10日(土)~11日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟

D51教室

講師:関田一彦・石田裕久

毎年11月の恒例になっています南山大学人間関係研究センター主催の協同学習ワークショップ(アドバンス)も、関田先生をお迎えしての講座は、今年が最後となりました。参加者は23名。協同学習は、自己統制と協調を必要とする課題の達成・相互活動を通して、学習者の自立や自律を促す指導論ですが、<アドバンス>は、<ベーシック>の修了者を対象として開講されています。ここでは、単なる技法としての協同学習にとどまらず、指導方法論としての協同教育について実習を交えながら学びました。参加された方々からは「2日間、協同学習の体験者になれた。安心して他者と対話する楽しさや、学びが深まる過程を身をもって知ることができた」「自分自身のこれまでの関わり方や姿勢についてふりかえることができた」「技法だけではなく、技法を支えている精神まで学ぶことができた」などの感想が寄せられました。

(石田裕久)



<一日研修>

2018年8月21日(火)【公認】

会場:中京大学(名古屋市)名古屋学舎522教室

講師:水谷 茂

今回、参加人数が多くはありませんでしたが、大分・鳥取・高知・兵庫・大阪・愛知の各府県から参加がありました。広い地域から来ていただける分だけ協同学習が広がっていくので嬉しい限りです。午前中は講義と授業DVDを視聴して意見交流、午後は生徒の気持ちになって俳句の授業を体験しました。そして、KJ法を使って講座のまとめを行いました。毎回のことですが、今回も皆さんが積極的に意見を交流する姿を見ることができました。KJ法でまとめた本日の学びを読んだ感想の1枚に「すべての場面において、生徒の成長や学びを願っている先生の気持ちが伝わる仕組みだと感じました。」と記しており、思いをきちんと受け取っていただいたことが分かりました。講座終了後に皆さんから「楽しかった」と言っていたことが何よりの喜びです。

(水谷茂)



学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

<ベーシック>

2018年12月1日(土)~2日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)名古屋学舎0号館0604教室

講師:水野正樹

2019年1月6日(日)~7日(月)【主催】

会場:北海道医療大学札幌サテライト(札幌市)アスティ45 12F

講師:石垣則昭

2019年3月9日(土)~10日(日)【主催】

会場:創価大学 講師:未定

<アドバンス>

2019年3月9日(土)~10日(日)【主催】

会場:創価大学 講師:未定

定員になり次第、受付を終了します。申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記URLをご覧ください。
(<https://jasce.jp/1031workshop.php>)

JASCE

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

北海道アクティブ・ラーニング(協同と創造の授業づくり)研究会

◇今冬も学会主催のベーシックワークショップ(札幌:2019年1月6日~7日)の運営を本会が行います。参加申込みにつきましては、JASCEのHP(上記)をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

連絡先:大和田秀一(酪農学園大学 owada@rakuno.ac.jp)

協同で学ぶ授業・学級・学校づくり学習会

◇杉江修治会長より、「北海道地区でも定例の学習会を開催できればいいですね」とのアドバイスを受け、この度、札幌市よりJRで1時間ほどの距離にある空知支庁(岩見沢市が中心)の教育事務所と管内小中高等学校の校長会、教頭会の有志の共催により、「協同で学ぶ授業・学級・学校づくり」と題した協同教育の継続的な学習会を年8回開催する運びとなりました。スタートは本年12月8日ですが、私自身、研究と実践を深め、協同学習の実践の普及に努めて行きたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

連絡先:石垣則昭

(北海道医療大学心理科学部
ishigaki7634@dream.bbexcite.jp)

(東北地域)

協同学習を学ぶ会 in 福島

◇12月8日(土) 13:30~16:30、福島県立安積黎明高等学校「花かつみ会館」で「協同学習を学ぶ会 in 福島」第3回研究会を開催します。テーマは、「協同学習を核としたアクティブラーニングの可能性~教科教育と生徒指導の一体化と全教育課程での実践の勧め」(講師:渡辺正雄)です。今回は、日本学校教育相談学会福島県支部と共催で実施します。「協同学習を学ぶ会」と児童生徒全体へのガイダンス活動(教育開発的支援)をも目指す「日本学校教育相談学会」の活動は、学校共同体そのものを支援する方向性で共通しています。今回は、教科教育と生徒指導にまたがる全教育活動領域での実践的協同学習論の報告になります。懇親会も開催します。

申込先:渡辺正雄

(協同学習を学ぶ会 in 福島 世話人
nrc38822@nifty.com)

(名古屋・東海地域)

Learning Design Community
(静岡県)

◇12月1日(土) 午前10時30分から「学びのイノベーションフォーラム『蕪山サミット』」というイベントを蕪山高校志龍講堂(伊豆箱根鉄道「蕪山駅」徒歩15分)で開催します。参加希望の方は以下の「こくちーず」からお申し込みください。

(<https://www.kokuchpro.com/event/>)

7198c7030deaf3e3d6674780dce86d08/)

当日の参加も受け付けますのでぜひお越しください。

事務局:鈴木映司(静岡県立蕪山高等学校)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇2018年度10月例会を10月30日(火)午後7時から名古屋大学教育学部で開催しました。神奈川、静岡、岐阜など遠方からの参加もあって盛会でした。発表者は、原口友輝先生(中京大学国際教養学部)。テーマは、「『考える道徳』について考える~歴史的事例の学習を通じた道徳教育を例として」。1)ホロコーストの事例学習を通じて道徳教育を行う米国のFacing History and Ourselvesの実践紹介。2)FHAOの方法とそれを「杉原千畝」の事例に適用した大学教職科目での実践を手がかりに、「考え、議論する道徳」について参加者一同、頭をふり絞りました。ある参加者の「道徳は塩と似ている。取り過ぎるとまずいが、なければ困る」という意見が印象的でした。



◇次回の12月例会は、12月5日(水)

JASCE

午後7時から名古屋大学教育学部
共通講義棟第2講義室で開催します。
発表者は高野芳幸先生(横須賀市
立横須賀総合高等学校教諭)。テー
マは「美術教育(実技系教科)におけ
る深い学びの実現」です。

申込先:水野正朗(東海学園大学
mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇定例の11月は、第15回大会の開
催と重なったため休会としました。次
回、2019年1月は、明星大学の太田
昌宏先生による「哲学カフェ」を開催
する予定です。第15回大会のワーク
ショップに参加できなかった方は、是
非この機会にご参加ください。

◇2018年度の開催予定

場所:グランフロント大阪北館2階
ナレッジキャピタルThe Labアクティ
ブスタジオ

時間:19時~21時、日程:2019年
1月25日、3月29日。

参加申込み先:緒方巧(梅花女子
大学 t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇本年度第3回の研究会を12月1日
(土)14時から開催します。今回は岡
山県立水島工業高等学校の居上真
也先生による理科(化学基礎)の授
業です。単元名は「アルカリ金属の性

質を確かめる/電子配置と周期表」。
見どころ(目標)は「自ら学習する主体
を育むための工夫」です。若く意欲的
な居上先生のお取組にご期待くださ
い。

◇2018年度の開催予定

場所:岡山大学教師教育開発セン
ター東山ブランチ

時間:14時~17時30分、日程:
2019年3月2日。

連絡先:高旗浩志

(岡山大学教師教育開発センター
takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇10月13日(土)13時~17時、第44
回研究会を開催しました。主な内容
は実践・研究報告として、和田珠実
先生(中部大学)「LTDによる初年次
英語リーディング授業の活性化-自己
効力感を中心に」、甲原定房先生(山
口県立大学)「ゲームを用いた授業と
そのアレンジ」でした。48名の参加が
あり、今回も大盛況でした。

◇次回の第45回研究会は12月8日
(土)13時~17時、久留米大学御
井キャンパス学生会館ミーティング=
ルーム3で開催します。主な内容は、
①実践研究報告:石丸文敏先生(久
留米大学)「特別支援教育におけ
る協同学習」、②体験学習:河野梢
子先生(久留米大学)「カードゲーム
『2030SDGs』×協同」です。参加の申

込みは、協同教育研究所「結風」の
HP (<http://yuikaji.me/wiki.cgi>) か
らお願いします。当日参加も可能です。

連絡先:安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)